

宇宙挑戦 セミナー 2023

宇宙から地球を見つめる
衛星データビジネスで
地球の未来を創る

新たな視点で地域の産業や生活に
根ざした事業を創出したい
グローバルな視点で
地域や地元産業の魅力を発見し
国内外で事業展開したい全ての方へ

グローバル×ローカル×衛星データ

agriculture



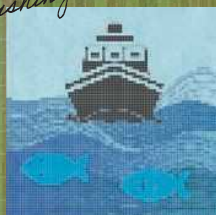
農業

forestry



林業

fishing industry



漁業

public infrastructure



公共インフラ



Think of a new space business!

衛星データ × 大分で地域発の イノベーションを起こすビジネスを創る。

一人一台のスマートフォンやパソコンを持つ時代、あらゆるデータがビジネスチャンスになります。中でも衛星データは私たち人間が目では認識できない情報を宇宙からの視点で提供し、全ての産業・業種に変革をもたらすことができます。本セミナーは令和5年9月から令和6年1月にかけて開催する、国内外の宇宙ビジネスの展望や衛星データの利活用等の知識学習を通して、地域特性・産業特性をもとにビジネスアイデアを発想し、グループワークを通じて具体的な事業企画にしていくプログラムです。実際の新規事業・新サービスを生むことを目的とし、各分野のプロが支援しますので、既存ビジネスの付加価値や生産性を上げたい、新規事業を作りたい、データ活用できる人材育成を行いたい法人・個人の方はぜひ参加ください。複数の企業によるコンソーシアム形式の参加も歓迎です。

第1回宇宙挑戦セミナー2023

宇宙ビジネスの機会を知るI -衛星データ利活用への追い風-

2023.9.8 (金) 15:30~ (15時開場)

事前申込み切
9月7日(木)

第2回宇宙挑戦セミナー2023

宇宙ビジネスの現状を知るII -衛星データ事業ベンチャーの現場感-

2023.9.20 (水) 15:30~ (15時開場)

事前申込み切
9月19日(火)

会場 J:COM ホルトホール大分 小ホール

参加無料 | 各回 会場定員80名 (事前申込制)

※本セミナーは会場とオンラインのハイブリット形式で開催いたします。
※オンライン参加は事前申し込み制、定員制限はありません。



《左記 QR コードよりお申し込み下さい》
宇宙挑戦セミナー2023
お申し込みフォーム



特設サイトでは本セミナーや衛星データを活用したビジネスの事例や関連情報を発信しています。

【お問い合わせ先】

株式会社 minsora

2023jimu@uchu-chosen-semi.com

Tel.097-534-4123(平日10時から17時)

宇宙挑戦セミナー2023

第1回 9.8[金]

宇宙ビジネスの機会を知る I ー衛星データ活用への追い風ー

第2回 9.20[水]

宇宙ビジネスの現状を知る II ー衛星データ事業ベンチャーの現場感ー

2023.9.8 - I. 衛星データ活用の追い風ー
ー地方発！九州の最新の宇宙ビジネスのトレンドが知れるー

九州×宇宙



15:35-16:20
[衛星データって何？今から始める宇宙ビジネス]

九州の宇宙開発を牽引する同氏が、
技術者の視点から衛星データの価値を紐解きます。

波多 英寛 Hata Hidehiro

株式会社宇宙技研 代表取締役 / 熊本大学 大学院先端科学研究部 助教
熊本大学で宇宙機器や航空機関連の研究開発を実施。2020年に株式会社宇宙技研を創業、
宇宙機器衝撃試験や宇宙開発の教育・普及事業を展開。経済産業省の地域コーディネータや九州航空宇宙開発推進協議会の幹事として、衛星データ活用の普及活動を行う。

暮らし×宇宙



16:25-17:10
[九州から宇宙へ！衛星データ活用の最前線]

衛星データを用い日本全国移住生活中の同氏が、
持続可能な未来のヒントを示します。

城戸 彩乃 Kido Ayano

株式会社sorano me 代表取締役 兼 CEO
大学在学中に宇宙ビジネスメディア宙畑、フリーマガジン TELSTAR 立上げ。
卒業後はリクルート→さくらインターネット「Tellus」を経て起業。文部科学省 国立研究開発法人審議会 JAXA部会委員、経済産業省2050年カーボンニュートラルに向けた若手有識者研究会委員等。

[衛星の種類と衛星データの活用方法]

私たちの仕事や生活を支えている人工衛星は、
目的によって大きく3種類に分けられます。

1. 情報

を伝える。

(通信技術 / 通信衛星・放送衛星)

例：インターネット通信 / テレビ番組の配信



2. 位置

を測る。

(ナビゲーション技術 / 測位衛星)

例：地図アプリ / 車の自動運転

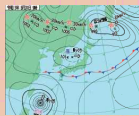


3. 物

を測る。

(リモートセンシング技術 / 地球観測衛星)

例：天気予報 / 農作物(水田)の状況



出典：気象庁ホームページ

PROGRAM

グローバル×ローカル×衛星データ

15:30 開演 主催者挨拶

15:35 シングルトーク 1 ※有識者による事例紹介

16:20 休憩

16:25 シングルトーク 2 ※有識者による事例紹介

17:10 休憩

17:25 パネルディスカッション

18:25 今後の予定発表ならびにネットワーキング

18:30 閉演

2023.9.20 - II. 衛星データ事業ベンチャーの現場感ー
ー事業立ち上げや価値創造のリアルが知れるー

農業×宇宙



15:35-16:20
[大分県発！農業における衛星データ活用の取り組み]

竹田市にて持続性のある産業としての農業に取り組む同氏が、
その可能性を語ります。

鈴木 千夏 Suzuki Chika

株式会社 Agriee 代表取締役
博士号取得後、外食・中食(メニュー開発等)や農業(土づくり等)のコンサルティング業務に従事。衛星に出会い、その技術を通して現場データを最大限活用できる農法ができると考え、2019年に株式会社 Agriee を設立。2021年より畑の状況を「見える化」するシステム、GrowthWatcherの開発をスタート。

AI×宇宙



16:25-17:10
[衛星データを活用した AI ビジネスと地方創生]

宇宙ベンチャーの起業家が、
地方における衛星データ解析ビジネスの現場を語ります。

金本 成生 Kanemoto Naruo

株式会社スペースシフト 代表取締役
ハレー彗星への興味から天文学者を志すも、大学時代に IT ベンチャーを起業。音楽・IT業界を経て、2009年に株式会社スペースシフトを起業。衛星データ解析ソフトウェア開発、宇宙ビジネスコンサルティング等を手掛ける。総務省「宇宙×ICTに関する懇談会」構成員等を歴任。

衛星データビジネスとは？

〇〇×衛星データといった、他分野との掛け算で新しいビジネスが生まれています。専門家でないと難しいイメージのある宇宙ビジネスですが、常日頃考えている課題やアイデアが新たなチャンスになることから、誰でも取り組みやすいのが衛星データビジネスです！
例えば、下記のビジネスは実際に行われています。

農業 / 衛星データから農作物の作付面積、生育状況、食味の把握や適期収穫時期の予測を行い、農業生産者の生産性と収益性を向上する。

林業 / 広範囲な森林を人工衛星により効率的に観測し、樹種分類による森林管理、森林火災や違法伐採の監視、植林地の選定などを行う。

漁業 / 海面水温、植物プランクトン、海面高度などの情報による魚群探査を行い、漁獲高の向上だけでなく漁船の燃油節約など効率的な漁業を行う。

公共インフラ / ダム、堤防、港湾施設、道路、鉄道路線などの公共インフラの高精度かつ広範囲な変動を抽出することが可能。劣化状況の把握や補修計画の立案が容易に行える。

特設サイトでは本セミナーや衛星データを活用したビジネスの事例や関連情報を発信しています。



お問い合わせ | 株式会社 minsora
2023jimu@uchu-chosen-semi.com
Tel.097-534-4123 (平日10時から17時)



セミナーの詳細とお申し込みは
左記 QR コードよりご確認下さい。